

令和6年度 予算案

つながりが織り成す 『人』が輝くまち

～明日の『すみだ』を共創する予算～

2024



ひと、つながる。
墨田区

令和6年度予算案記者発表 資料番号一覧（目次）

すみだ共創まちづくり事業

資料番号	資料タイトル	主なSDGs目標	予算概要での該当箇所	主管課
すみだ南部エリア				
1	すみだ保健子育て総合センターの開設	3 健康と長寿、11 持続可能な消費と生産	P39 No19	新保健施設等開設準備室
2	交流室へおいでよ！	3 健康と長寿	P40 No17	子育て支援総合センター
3	教育センターの開設	4 質の高い教育をみんなに	P50 No1	すみだ教育研究所・指導室・学務課・庶務課
4	高齢者のつながりの場の創出と介護予防・生きがいづくり	3 健康と長寿、17 持続可能な開発目標	P36 No17	高齢者福祉課
5	錦糸町駅周辺のまちづくり	11 持続可能な都市とコミュニティ、17 持続可能な開発目標	P47 No5	まちづくり調整課
すみだ中央部エリア				
6	押上・とうきょうスカイツリー駅周辺まちづくりの推進	11 持続可能な都市とコミュニティ、17 持続可能な開発目標	P47 No1, No2	立体化推進課・拠点整備課
7	人権同和・男女共同参画推進のための事務所移転	5 働きがいと経済成長、16 平和と公正	P30 No3	人権同和・男女共同参画課
すみだ北部エリア				
8	鐘ヶ淵周辺地区まちづくりの推進	11 持続可能な都市とコミュニティ	P43 No12	密集市街地整備推進課
9	大学のあるまちづくり	4 質の高い教育をみんなに、17 持続可能な開発目標	P27 No1, P45 No2	行政経営担当・都市整備課
10	新八広児童館の開設	3 健康と長寿、4 質の高い教育をみんなに	P41 No20	子育て政策課
11	曳舟駅周辺のまちづくり	11 持続可能な都市とコミュニティ、17 持続可能な開発目標	P47 No3	拠点整備課
隅田川沿川エリア				
12	隅田公園の再整備	11 持続可能な都市とコミュニティ、15 陸の豊かさ	P45 No1	都市整備課
13	隅田川沿川地区まちづくりの推進	11 持続可能な都市とコミュニティ、17 持続可能な開発目標	P42 No1	都市計画課



その他注目事業

資料番号	資料タイトル	主なSDGs目標	予算概要の該当箇所	主管課
「こどもまんなか すみだ」の実現				
14	「こどもまんなか すみだ」の推進	 	P40 No2	子育て支援課・地域教育支援課
15	学童クラブ事業の充実	 	P40 No9	子育て政策課
16	児童館の魅力アップを推進!	 	P40 No7, No11, No12	子育て政策課
17	自閉症・情緒障害等特別支援学級	 	P50 No6	学務課
18	イングリッシュキャンプの実施		P51 No12	指導室
19	子どもたちの放課後時間の充実	 	P51 No15, No19	地域教育支援課・ひきふね図書館
20	おたふくかぜ・小児インフルエンザ任意予防接種費用の助成		P38 No10	保健予防課
21	道路バリアフリー整備等の推進	 	P45 No9, P46 No10	道路公園課
多様な「つながり」で地域の課題解決に				
22	「すみだ未来都市共創会議×(仮称)すみだSDGsアワード表彰式」開催	 	P28 No14 他	SDGs未来都市政策調整担当・産業振興課
23	総合的芸術祭の開催準備	 	P32 No8	文化芸術振興課
24	雨水ネットワーク全国大会の開催	 	P48 No5	環境保全課
25	オールすみだで熱中症対策強化	 	P48 No1, P38 No7 他	環境保全課・すみだ清掃事務所・保健計画課・高齢者福祉課
26	高齢者の暮らしをサポート!	 	P37 No20 ~ No22	高齢者福祉課
27	葛飾北斎で「すみだ」をめぐる	 	P32 No6, P35 No20	観光課・文化芸術振興課
28	誰もが楽しみながら、スポーツでつながるまちの実現へ	 	P33 No14	スポーツ振興課
29	ハードウェアスタートアップ拠点構想の推進	 	P35 No13	産業振興課
30	デジタル決済促進支援事業		P35 No15	産業振興課
31	障害者相談支援体制の充実	 	P36 No7, No11	障害者福祉課
32	パリ7区・ソウル西大門区との交流	 	P32 No10	文化芸術振興課
未来を見据えたまちづくり				
33	廃プラスチックの分別収集・再資源化の本格実施	 	P48 No9	すみだ清掃事務所
34	地域で取り組む食品ロス削減	 	P49 No10, P36 No5	環境保全課・すみだ清掃事務所・厚生課
35	(仮称)墨田区地域公共交通計画の策定		P42 No2	都市計画課
36	災害時受援応援体制の構築と持続可能な避難所運営に向けて	 	P44 No4	防災課
37	耐震化促進事業	 	P42 No11	不燃・耐震促進課
DXの推進				
38	公共施設利用システムのリニューアルで利便性向上		P27 No7	I C T推進担当
39	Web口座振替受付サービスの導入		P31 No3	税務課
40	‘ネクストコロナ’に向けた感染症対策		P38 No9	保健予防課
41	公共施設の包括管理		P29 No2	公共施設マネジメント推進課

1 生涯健康都市の実現に向けて

すみだ保健子育て総合センターの開設

予算額(新規・拡充)

3,648,765千円

問合せ

新保健施設等開設

準備室長

平山 千富 内線3521

1 目的

区民の健康づくりや母子保健、災害医療体制の拠点として、多様化する健康課題に迅速に対応するため、保健所・子育て・教育の機能を複合化した総合的な保健施設を開設する。

2 施設概要

(1) 施設名

すみだ保健子育て総合センター

(2) 開設予定地

墨田区横川五丁目7番4号

(3) 整備スケジュール

令和4年3月15日 着工

令和6年6月28日 竣工(予定)

令和6年11月5日 開設(予定)



3 主な事業内容

(1) 維持管理等 【156,228千円】(新規)

(2) 建設工事等 【3,492,537千円】(拡充) 令和3～6年度の継続事業を含む

令和6年11月の開設に向け、建設工事及び移転準備を円滑に行っていく。また、施設利用者へのサービス向上、職員の新しい働き方にも配慮し、最新の什器備品、デジタル環境の充実を図る。

主なSDGs目標



完成イメージ



環境配慮

「ZEB-Ready」取得
「建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)」5(最高ランク)取得



移転する施設・部署

- 保健** 保健計画課、生活衛生課、保健予防課、本所保健センター、向島保健センター、ひかり歯科相談室
- 子育て** 子育て支援総合センター(区役所6階を含む)
- 教育** 学務課(就学相談等)、教育相談室、教職員研修室、すみだスクールサポートセンターサポート学級、ステップ学級

連携イメージ



妊娠・出産から子育て、学齢期に至るまで切れ目ない支援の充実を図る

デジタル環境の充実

画像はイメージです



デジタルサイネージを活用し、施設利用者に必要な情報を効果的に配信

卓上モニターや大型モニターを設置し、オンライン会議・面接等の業務効率化・ペーパーレス化を図る

電子申請や職員用スマホの導入等、オンライン環境を整備し、区民サービスの向上、情報共有・連絡の迅速化を実現

2 子育て世帯を全力でサポート

交流室へおいでよ！

予算額(新規・拡充)

4,145千円

問合せ

子ども・子育て支援部副参事
(子ども・家庭支援連携担当)

梅原 和恵 内線3481

1 目的

令和6年11月に開設する「すみだ保健子育て総合センター」内に設置される子育て支援総合センター交流室において、複合施設ならではの子育て支援事業を実施する。

2 主な事業内容

交流室活用事業【4,145千円】

(1) 健診時等の兄弟姉妹の一時預かり(新規)

保健所や教育センターを利用する際に、直接用件に関わらない子ども(兄弟姉妹)の一時預かりを無料で行う。一時預かりの利用は、事前登録制とする。

(2) ひろばデビュー応援隊(新規)

保健所に健診や相談で訪れる赤ちゃん連れの保護者が気軽に立ち寄ることのできるスペースを提供し、各種事業の案内や区内の遊び場情報を紹介する。

(3) 月イチひろば(拡充)

現在、子育て支援総合センターで毎月1回実施している「おれんじたいむ」「こみかнтаいむ」をそれぞれ隔週に拡充、また、季節ごとのイベントを土日に企画して実施する。

おれんじたいむ

赤ちゃん～おおむね4歳の子と保護者が対象の遊び場

こみかнтаいむ

歩けるようになるまでの子と保護者が対象の遊び場

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

(1) 新規 健診時等の兄弟姉妹の一時預かり

利用無料

兄弟姉妹の一時預かりで、サービスをより利用しやすく



待ち時間が楽しく！子どもの負担も軽減



保護者は、用件のある子どもの対応に集中できる

事前登録制

(2) 新規 ひろばデビュー応援隊

健診の帰りに、気軽に子育て情報にアクセス

複合施設内の職員が駆けつける



初めての子育てで不安...どこで遊ばせれば...

気になることを早めに専門職へ相談(心理職、保健師、保育士、栄養士など)



(3) 月イチひろば

月1回から隔週開催に拡充



保育士への育児相談でワンオペ育児の解消も



季節ごとのイベントも

未就園の親子を応援

子ども連れでの外出の機会を創出

3 効果的な支援につなげます！

教育センターの開設

予算額(新規)

65,195千円

問合せ 教育委員会事務局

すみだ教育研究所長	宮本 佳代子	内線5231
指導室長	石坂 泰	内線5140
学務課長	西村 克己	内線5121
庶務課長	浮田 康宏	内線5102

1 目的

子どもの心身の健やかな成長に寄与することを目的とし、令和6年11月、新複合施設内に教育センターを開設する。点在していた不登校児童・生徒への支援の場を統合し、同施設内の保健衛生部門や子育て支援部門とも連携、計画的な支援で効果的な運営の実現を目指す。

2 主な事業内容

教育センターの開設【65,195千円】(新規)

(1) 教職員研修

教育の質の更なる向上を目的に、教職員に向けた研修施設を設置。対面での研修に加え、新たな機能を備えたICTを活用し育成・支援を行う。

(2) 教育相談・就学相談

教育に関するさまざまな悩みを解決するために、専門の相談員が対応。また、児童・生徒の障害に応じ小学校への入学、中学校への進学及び転学に関する相談も行う。

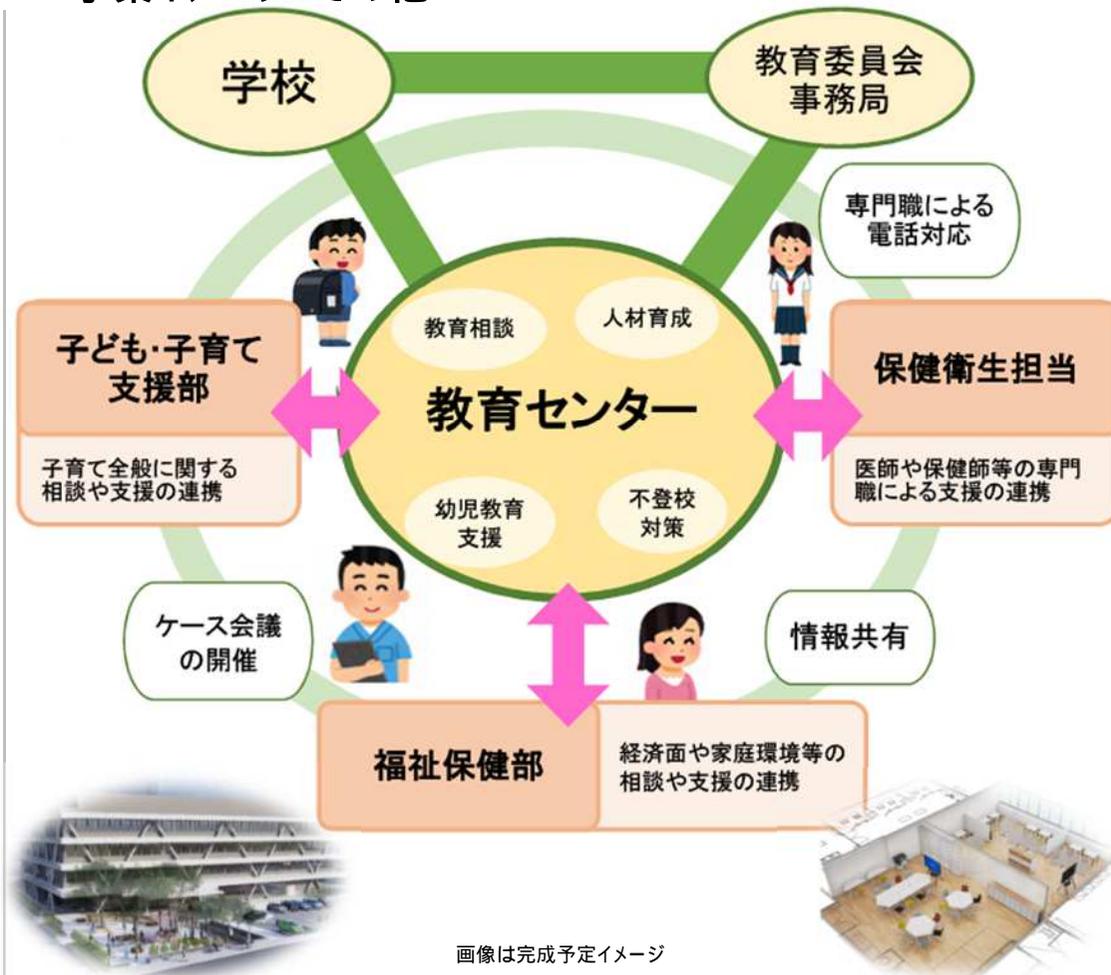
(3) 不登校対策(サポート学級、ステップ学級の運営)

長期間不登校の状態にある児童・生徒に対し、学習指導や体験活動を通し、自立心や社会性を育て、学校への復帰ができるよう支援する。

(4) 幼児教育支援

幼児教育の更なる質の向上をめざし、有効な情報を幼児教育施設へ発信していく。

3 事業イメージ・その他



- ◆ **教育センター：墨田区横川5-7-4 すみだ保健子育て総合センター 3階**
- 教育センターの開設に伴い、以下の施設を移転統合
 - ・教育相談室(東向島2-38-7 すみだ生涯学習センター内)
 - ・ステップ学級(吾妻橋2-18-12)
 - ・すみだスクールサポートセンター・サポート学級(東向島6-8-1第三寺島小学校内)
 - ・就学相談(吾妻橋1-23-20 墨田区役所11階 学務課)

主なSDGs目標



4 地域包括ケアシステムの更なる推進！ 高齢者のつながりの場の創出と 介護予防・生きがいづくり

予算額(新規)
76,335千円

問合せ
福祉保健部副参事
(地域包括ケア推進担当)
清水 洋平 内線3411

1 目的

みどり高齢者支援総合センター(現:緑二丁目5番12号)について、高齢者の総合相談等を行う従来の機能に加え、多目的室を整備し、介護予防や生きがいづくりなど、高齢者の活動等の中心となる福祉総合型高齢者支援総合センターとして移転整備する。

2 主な事業内容

みどり高齢者支援総合センターの移転整備【76,335千円】
(新規)

施設概要

設置場所: 墨田区緑一丁目11番

延床面積: 約303m²

施設内容: 事務室、相談室、多目的室、会議室

開設時期: 令和7年春(予定)

福祉総合型高齢者支援総合センターとは？

高齢者の介護予防事業や生きがいづくり、交流や地域住民、医療・介護関係者等との会議等を行う多目的室を設置しており、介護予防や交流、地域連携の拠点として機能している施設。

主なSDGs目標



3 事業イメージ

既存の福祉総合型高齢者支援総合センターにおける多目的室を活用した、介護予防・生きがいづくり活動の様子



八広はなみずき
高齢者支援総合センター
(「ポッチャを楽しむ会」の様子)



ぶんか
高齢者支援総合センター
(地域の交流活動の様子)



5 地域とともに描く、錦糸町の将来像

錦糸町駅周辺のまちづくり

予算額(継続)

8,994千円

問合せ

まちづくり調整課長
大西 俊明 内線3980

1 目的

錦糸町駅周辺について、地下鉄8号線(有楽町線)「豊洲 - 住吉間」の延伸に合わせ、地域主体のまちづくりを推進することで、「暮らし続けたいまち」「働き続けたいまち」「訪れたいまち」を実現していく。

2 主な事業内容

錦糸町駅周辺まちづくり事業【8,994千円】(継続)

地域主体の「まちづくりビジョン」策定支援

令和5年度に実施したワークショップの成果等を踏まえて地域の代表者たちが開催する「まちづくり会議」の運営及び地域が考える「まちづくりビジョン」の策定を支援する。

SNS等を活用した意見の収集

令和5年度から引き続き、情報経営イノベーション専門職大学(iU)と連携し、ワークショップ等では拾いきれない意見や、錦糸町と関係性があまりない方の意見を、SNS等を活用して収集する。

まちづくりシンポジウムの開催

将来の錦糸町駅周辺まちづくりについて、学識経験者を交えたパネルディスカッション等を行う。

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他



ウォークアブル

駅前広場

道路空間

地域とともに描く、
錦糸町の将来像

高架下

リノベーション 公園



水辺空間



令和5年度実施ワークショップ「これワク」

6 踏切除却で渋滞解消！もっと魅力あるまちに！

押上・とうきょうスカイツリー駅 周辺まちづくりの推進

予算額(継続)

4,810,011千円

(1) (2)立体化推進課4,800,351千円
(3)拠点整備課 9,660千円

問合せ

立体化推進課長
戸梶 大内線3991
拠点整備課長
前田 武内線3981

1 目的

東武伊勢崎線第2号踏切(桜橋通り)を中心に、約0.9kmの鉄道を高架化することで、踏切による交通事故の危険性や渋滞を解消し、安全で円滑な交通機能を確認するとともに、南北に分断されているまちの一体化を図る。

また、鉄道の高架化や道路等の都市基盤の整備を契機に、広域総合拠点にふさわしい魅力あるまちの形成を図る。

2 主な事業内容

(1)東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)立体化事業
【4,738,202千円】(継続)

下り高架橋と留置線高架橋(一部)工事を進め、踏切除却を行う。

(2)とうきょうスカイツリー駅周辺関連街路整備事業
【62,149千円】(継続)

関連街路整備に係る土地鑑定、用地測量等、事業認可取得に向けて準備を進める。

(3)駅周辺まちづくり事業 【9,660千円】(継続)

まちづくりルール(地区計画等)の都市計画の検討を進めるとともに、地域のまちづくりに関する機運を醸成する。

3 事業イメージ・その他

1 東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)立体化事業

安全で円滑な交通機能を確認・南北市街地を一体化

2 とうきょうスカイツリー駅周辺関連街路整備事業

安全で快適な移動空間やにぎわいの回遊動線を整備

3 駅周辺まちづくり事業

土地利用の促進と適切な市街地更新の誘導

とうきょうスカイツリー駅
新駅舎のイメージ



桜橋通り付近の
高架化イメージ



広域総合拠点にふさわしい
魅力あるまちへ

(仮称)押上駅
北口交通広場等
のイメージ



押上・とうきょう
スカイツリー駅周辺
地区整備構想



主なSDGs目標



7 人権を尊重する共生社会づくりに向けて！ 人権同和・男女共同参画推進の ための事務所移転

予算額(新規)

23,108千円

問合せ

人権同和・男女共同参画課長
野澤 典子 内線5221

1 目的

「すみだ共生社会推進センター」の隣接地に、区役所庁舎から人権同和・男女共同参画課を移転し、令和6年11月から新たな事務所とする。

人権啓発の拠点施設「墨田区社会福祉会館」と更なる施設間連携を図り、人権が尊重され多様性を認め合う地域づくりに取り組む。

多様な性を包摂する男女共同参画施策の推進拠点施設として、令和6年4月にすみだ女性センターから名称変更

2 主な事業内容

内装改修工事等 [23,108千円] (新規)

すみだ消費者センターの一部を改修し、11月から人権及び男女共同参画施策に係る相談や、事業等各種打ち合わせができるスペースを備えた事務所を運営する。

【主な設備等】

- ・人権同和担当及び男女共同参画担当執務室
- ・相談室 (パートナーシップ宣誓制度、男女共同参画相談対応等)
- ・附属機関委員等打合せスペース

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

名称:(仮称)すみだ人権同和・男女共同参画事務所

住所:墨田区押上二丁目12番7 - 215号

(すみだ消費者センター495.7㎡のうち約105㎡)



事務所入り口:セトル中之郷2階



- ・2階手前:共生社会推進センター
- ・2階左奥:(仮称)人権同和・男女共同参画事務所、消費者センター

8 安全・安心に住み続けられるまちを目指して

鐘ヶ淵周辺地区まちづくりの推進

予算額(継続)

331,748千円

問合せ

密集市街地整備推進課長
儀間 誠 内線3961

1 目的

鐘ヶ淵周辺地区は、木造密集市街地であることから、防災性を高めるまちづくりに取り組んでいる。

また、当地区では「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」に基づき、東武伊勢崎線の鉄道立体化を見据えたまちづくりに取り組んでいる。

令和4年9月に都が鐘ヶ淵駅付近を鉄道立体化の「事業候補区間」へ位置づけたことを契機に、更なる安全・安心なまちづくりを推進する。

2 主な事業内容

(1) 鐘ヶ淵駅周辺地区のまちづくり【42,911千円】(継続)

鉄道立体化を見据えたまちづくり推進のため、地域住民の意見を十分に聞きながら「鐘ヶ淵駅周辺地区まちづくり計画」の改定を行う。

また、交通ネットワーク構想の策定や、鐘ヶ淵通りの拡幅整備、一体的なまちづくりの検討を通じ、地域のにぎわいにつなげる。

(2) 住宅市街地総合整備事業【288,837千円】(継続)

密集市街地の改善に向け、優先整備路線や公園の整備、建替え促進に取り組み、災害に強いまちづくりを推進する。

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

より安全・安心に住み続けられるまちへ

鐘ヶ淵駅周辺地区 のまちづくり

まちづくり計画改定



交通ネットワーク
構想の策定

鐘ヶ淵通り
拡幅整備と
一体的なまち
づくりの検討

住宅市街地 総合整備事業

優先整備路線
の整備



公園広場の整備



建替え促進



大学のあるまちづくり

予算額(拡充・継続)

236,080千円

問合せ

行政経営担当課長

岐部 靖文 内線3711

都市整備課長

江波戸 史恭 内線3911

1 目的

千葉大学や情報経営イノベーション専門職大学(iU)と連携し、教育環境の向上や産業振興などにつなげる。

2 主な事業内容

(1) 大学との連携事業【46,400千円】(拡充)

大学との共同研究・共同事業

- ・認知行動療法に基づく小学校の不登校対策
- ・すみだモダンの発展に向けた千葉大学・台湾連携
- ・ICTを活用した住民参加型公園管理 等
- ・すみだ・千葉大学driデザイン連携プログラム
- 全10学部の幅広いテーマによる区民向け講座
- デザインの知見を活用した行政サービスの改善
- 社会人向けデザインスクールの実施

(2) あずま百樹園再整備工事【176,680千円】(拡充)

先行して整備したキャンパスコモンに続き、区立あずま百樹園を再整備する。千葉大学の学生によるアイデアを活用したトイレも設置。

(3) UDCすみだ事業推進補助【13,000千円】(継続)

- ・“すみだ百計”の実行による地域課題の解決
- ・地域と大学の交流広場「キャンパスコモン」の活用
- ・全国UDC会議inすみだの開催

3 事業イメージ・その他



大学のあるまちを世界へ！

地域と学生の交流の場に！



社会実験の場に！



学びと遊びの拠点に！



未来の公園トイレに！

主なSDGs目標



10 令和6年4月1日 区内最大の児童館が誕生

新八広児童館の開設

予算額(新規)

97,888千円

問合せ

子育て政策課長

秋山 和栄 内線3401

1 目的

築後50年以上経過し老朽化が進む八広児童館を、先に廃止した旧すみだ健康ハウスへ移転し、地域における児童の健全育成・子育て支援並びに地域交流の拠点とする。

また、児童館内に併設する学童クラブを拡充し、待機児童の解消を図る。

2 主な事業内容

(1) 八広児童館の運営【97,888千円】(新規)

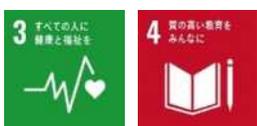
指定管理者制度を活用し、地域児童の健全育成及び地域と利用者の交流の拠点として八広児童館を運営する。

(2) 施設概要



【所在地】
墨田区東墨田一丁目2番6号
【階数】
3階建(児童館部分)
【敷地面積】
813㎡
【延床面積】
1,921㎡(1～3階)

主なSDGs目標



3 フロアガイド

3階 学童クラブ室、乳幼児室・授乳室、図書・勉強室



学童クラブ室



図書・勉強室

2階 体育室、学童クラブ室、スタジオ、中高生ルーム 他



プレイコーナー



体育室・ボルダリング

1階 地域活動施設(調理室・和室・会議室)、事務室 地域活動施設は、子育て関連団体等に**無料貸出!** (要事前予約)



調理室



和室

11 より安全で利便性の高いまちをめざして

曳舟駅周辺のまちづくり

予算額(継続)

12,588千円

問合せ

拠点整備課長

前田 武 内線3981

1 目的

市街地再開発事業等の面的な整備により、土地の高度利用を図るとともに、道路等の都市基盤の整備を進め、区北部の広域拠点にふさわしいにぎわいと交流の場づくりや、駅前立地を活かした魅力ある複合市街地をつくる。

2 主な事業内容

曳舟駅周辺整備の推進【12,588千円】(継続)

駅前まちづくりの推進

東武曳舟駅前地区では、令和3年度に再開発準備組織が設立されるなど、まちづくりに対する機運が高まっている。この準備組織により、まちづくり案の精査・見直しについて話し合いを進め、まちの将来像の具体化を進める。

都市計画決定に向けた検討

東武曳舟駅前地区内の土地や建物の権利者等の意向を踏まえ、安全で利便性の高い土地利用と都市基盤の整備を検討し、早期の都市計画決定を目指す。

3 事業イメージ・その他



再開発準備組織設立総会の様子
(令和3年度)

主なSDGs目標



12 公園の賑わいをまちへ広げる！

隅田公園の再整備

予算額(新規・継続)

254,700千円

問合せ

都市整備課長

江波戸 史恭 内線3911

1 目的

隅田公園の日本庭園から言問通りまでの範囲において、公園の歴史的・文化的価値を最大限に発揮するとともに、利便性や魅力を向上するための「第2期再整備」を進める。また、これまでの再整備による人の流れや賑わいを言問通り以北に波及させ、まちの魅力を向上するため、「今後の再整備構想」を策定する。

2 主な事業内容

(1) 第2期再整備 [245,700千円] (継続)

池の拡張、楢円園路・水際園路・芝生広場・交流広場の整備、築山の切下げ等の再整備工事(令和5・6年度債務負担)

当該工事に伴う監督員補助業務(令和5・6年度債務負担)

令和7年4月リニューアルオープン予定

(2) 今後の再整備構想の策定 [9,000千円] (新規)

隅田公園第1期・第2期再整備区域以外の区域の再整備構想の策定

3 事業イメージ・その他



- : 隅田公園
- : 第2期再整備(整備中)
- : 第1期再整備(完了済)

今後の再整備構想の策定

隅田公園第1期・第2期再整備区域以外の区域の再整備構想の策定

第2期再整備



第2期再整備イメージ

主なSDGs目標



隅田公園の賑わいをまちへ広げる！



13 “にぎわい”と“うるおい”のあるまちへ！

えんせん 隅田川沿川地区まちづくりの推進

予算額(継続)

35,065千円

問合せ

都市計画部参事

武井 勝人 内線3901

1 目的

「隅田川沿川地区(蔵前橋～駒形橋周辺)まちづくり方針」(令和5年3月策定)に掲げる「まちの将来像」の実現に向け、区民・事業者・行政が一体となり、まちづくりを推進する。

約46.8ha(横網二丁目、石原一丁目、本所一丁目、東駒形一丁目の範囲)

2 主な事業内容

(1)隅田川沿川地区まちづくり【5,065千円】(継続)

「(仮称)隅田川沿川蔵前橋周辺地区地区計画」に基づき、大規模開発予定地における「開発計画」の誘導を行う。

また、開発に際し実施する周辺整備について、地域の意見を反映するため、ワークショップ等を開催する。

現在、都市計画手続中

(2)スーパー堤防整備に伴う道路整備事業

【30,000千円】(継続)

隅田川(本所一丁目地区)において、東京都が実施するスーパー堤防整備事業に伴い、隣接する区道整備に係る基本設計を行う。

3 事業イメージ

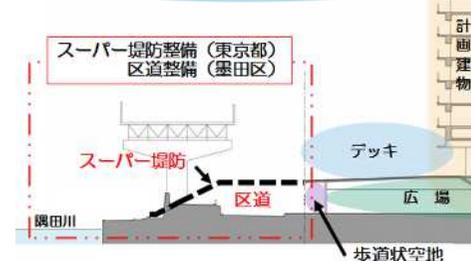
(仮称)隅田川沿川蔵前橋周辺地区
地区計画 約1.62ha



開発計画イメージ



スーパー堤防整備イメージ



地域の意見を取り入れながら
周辺整備を進めます！



スーパー堤防の事例
(両国リバーセンター)

主なSDGs目標



14 切れ目ない支援でもっと笑顔あふれるまちに 「こどもまんなか すみだ」の推進

予算額(新規)
21,379千円

問合せ 子育て支援課長
石岡 克己 内線3441
地域教育支援課長
大八木 努 内線5151

1 目的

子どもの最善の利益を優先するとともに、切れ目ない子ども・子育て支援を充実することで、誰一人取り残さない、笑顔あふれるまち「こどもまんなか すみだ」を実現する。

その第一弾として、「(仮称)墨田区子ども計画」の策定や「(仮称)墨田区子ども基本条例」の制定等を行い、「こどもまんなか すみだ」の基盤を整備する。

2 主な事業内容

(1)「(仮称)墨田区子ども計画」の策定【12,379千円】(新規)

こども基本法に基づく「(仮称)墨田区子ども計画」(計画期間:R7~R11年度)を策定する。なお、本計画には、「墨田区子ども・子育て支援総合計画」と「子ども・若者計画」を含めることを想定。

(2)「こどもまんなか すみだ」実現に向けた取組【9,000千円】(新規)

「こどもまんなか すみだ」の取組を区民に広く周知するため、子ども中心のキックオフイベントを実施する。

また、子どもの意見を反映した「(仮称)墨田区子ども基本条例」の制定に向けた取組を行うとともに、定期的に子どもの意見を聴取できる仕組みをつくる。

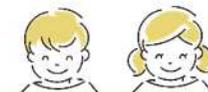
主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

「こどもまんなか すみだ」とは

- 子どもの最善の利益を優先するまち
- 切れ目ない子ども・子育て支援が充実し、笑顔があふれているまち



「こどもまんなか すみだ」実現のために

子どもの豊かな育ちの支援

子どもの健やかな育ちと教育・保育、体験、居場所づくりなどを充実させる

子育て家庭の暮らしや健康の支援

子育て家庭の育児・子育ての負担軽減や健康づくりを支援する

子育てしやすい環境の整備

子育て施設や多様な支援への拡充、子育てDXなど子育てしやすい環境整備を図る

妊娠・出産から子育て期にわたって切れ目なく支援

(仮)墨田区子ども計画

(仮)墨田区子ども基本条例

「こどもまんなか すみだ」の実現へ

学童クラブ事業の充実

予算額(拡充・継続)

156,007千円

問合せ

子育て政策課長
秋山 和栄 内線3401

1 目的

保護者のニーズに合わせた利用しやすい公立・私立を含めた学童クラブの環境整備を進め、併せて学童クラブの待機児童解消を図る。

2 主な事業内容

(1) 公立学童クラブの新設【73,354千円】(継続)

学童クラブを3か所新設(緑一丁目11番、京島一丁目35番 他)し、待機児童の解消を図る。

(2) 早朝・夜間延長育成に対応する学童クラブの拡大等【30,303千円】(拡充)

多様化する保護者の働き方に対応するため、就労時間に合わせた早朝・夜間延長育成が可能な学童クラブ数を全体の3割から5割に引き上げる。また、学童クラブへの心理相談員やアドバイザーが巡回する回数を増やす。

(3) 私立学童クラブを活用した待機児童対策【52,350千円】(拡充)

私立学童クラブによる障害児の受入れを推進するとともに、私立の特色を活かしたメニューを積極的にPRすることで、私立学童クラブの利用を促進し、学童クラブ待機児童数の削減を図る。

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

現状



勤務時間に合わせた学童が増えないかな...



もう学童クラブのお迎えの時間... (Sad face icon)



導入後

公立学童クラブを
3か所新設



私立学童クラブで障害児の
受入れ推進・独自のメニューも



早朝・夜間延長育成対応の
学童クラブを拡大

→全体の3割から5割に

令和7年4月には、計69か所、
約3,000人の定員枠を確保!



もっと利用しやすい学童クラブへ!

16 “こどもまんなか”児童館の実現に向けて 児童館の魅力アップを推進！

予算額(新規・継続)
213,115千円

問合せ
子育て政策課長
秋山 和栄 内線3401

1 目的

“こどもまんなか社会”の実現に向けて、子ども(乳幼児から中高生まで)が安全に安心して過ごせる居場所である「児童館」を、計画的に整備・改修していくことで、利用者にとって魅力のある児童館づくりを進めていく。

2 主な事業内容

- (1) 児童館リニューアル計画の策定【8,250千円】(新規)
墨田児童会館及び江東橋児童館のあり方の検討及び老朽化が進む児童館を、利用者にとってより安全、安心、快適な居場所とするためのリニューアル計画を策定する。
- (2) 文花児童館移転整備事業【76,510千円】(継続)
旧文花小学校跡地に、「児童館」と、同跡地に整備するテニスコートの「管理棟」との複合施設を整備し、築後40年以上が経過し、老朽化が進む文花児童館を移転する。
移転(開設) 予定時期: 令和9年度頃
- (3) 立花児童館長期修繕工事等【128,355千円】(新規)
立花児童館の長寿命化を図るための長期修繕工事及び児童館のリニューアル工事を実施する。

3 事業イメージ・その他



老朽化が進む児童館を、
計画的にリニューアル！

「安全・安心・快適」な
児童館へ！



(参考) 児童館リニューアルのイメージ

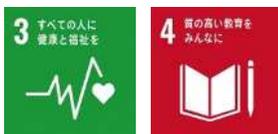


(さくら橋コミュニティセンター体育室)



After

主なSDGs目標



17 新たな学習環境による適切な学びの場を！

自閉症・情緒障害等特別支援学級

予算額(新規)

10,035千円

問合せ

学務課長

西村 克己 内線5121

1 目的

発達障害等があり、特別な指導を必要とする児童生徒に対しては、特別支援教室を設置し、指導を行っている。

その中でも、より少人数の環境において指導が必要な児童・生徒に対し、より適切な学びの環境を整えるため、新たな学びの場として、「自閉症・情緒障害等特別支援学級」を開設する。

2 主な事業内容

「自閉症・情緒障害等特別支援学級」

令和7年度開設に向けた準備【10,035千円】(新規)

開設時期

令和7年4月(予定)

開設校

小学校 2校

中学校 1校

実施内容

- ・設置校(教室等)の環境整備
- ・入級基準の決定、『特別支援学級審査会(仮称)』の設置
- ・令和7年度入級対象児童生徒及び、支援内容(介助員・講師等)の検討 等

主なSDGs目標

3

すべての人に
健康と福祉を



4

質の高い教育を
みんなに



3 事業イメージ・その他



自閉症・情緒障害等特別支援学級

知的な遅れのない、
自閉症・情緒障害(選択制かん黙)等で、
通常学級(多人数の学級)の学習では
十分に力を発揮することが難しい
児童・生徒

学びの場を提供

特別な教育課程を編成し、各教科等のほか、
必要な自立活動を取り入れます！

児童・生徒
8人で1学級
(少人数)



刺激の少ない
落ち着いた環境
での学習



必要に応じて
介助員(支援員)
等の配置



18 地域大学と連携した「通学型留学体験」

イングリッシュキャンプの実施

予算額(新規)

2,400千円

問合せ
教育委員会事務局
指導室長
石坂 泰 内線5140

1 目的

生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上とともに異文化を理解し、異なる習慣や文化を持った人々と共生していくための資質・能力の向上を図る。

部活動地域移行のモデル実施で人気の英語部同様、レイクランド大学との連携プログラムで、日本にいながら短期留学をしているような体験が可能。

フィールドワークも計画中で、英語で会話する楽しさを味わう機会を増やす。

2 主な事業内容

イングリッシュキャンプの実施【2,400千円】(新規)

- ◆ 対象 区立中学生(第2学年)
- ◆ 活動場所 レイクランド大学ジャパンキャンパス
- ◆ 期間 夏季休業期間 5日間
- ◆ 講師 レイクランド大学教員並びに学生

3 今後の予定

令和6年3月下旬までに、第一次募集
令和6年4月以降、第二次募集
令和6年夏季休業中、キャンプ開催

3 事業イメージ・その他



레이크ランド大学
との連携

自宅から通える
通学型研修

夏季休業中
の5日間

英会話の楽しさを学ぶ!

コミュニケーション
能力の向上

異文化理解
共生社会の実現

主なSDGs目標



19 より安全で楽しい放課後を！

子どもたちの放課後時間の充実

予算額(新規・拡充)

54,738千円

問合せ 教育委員会事務局
地域教育支援課長
大八木 努 内線5151
ひきふね図書館長
有澤 恵美子 電話5655-2350

1 目的

小学生が、安全に楽しく放課後を過ごすことができるよう、小学校施設を活用した放課後事業の充実を図る。

2 主な事業内容

(1) 放課後子ども教室推進事業【54,188千円】(拡充)

スタッフ確保等の課題から事業実施に至っていない学校について、スキルやノウハウをもつ事業者に運営支援を委託し、新規開設に向けた準備を進める。

(2) ほうかご図書室事業(モデル実施)【550千円】(新規)

小学生にとって一番身近な図書館である学校図書館(図書室)を放課後に開館、読書の機会を増やし、児童の読書活動を推進する。開館時は児童の読書活動を支援するため司書を1名配置するとともに、見守りのための支援員を1名配置する。

令和6年度は3校で実施予定

3 事業イメージ・その他

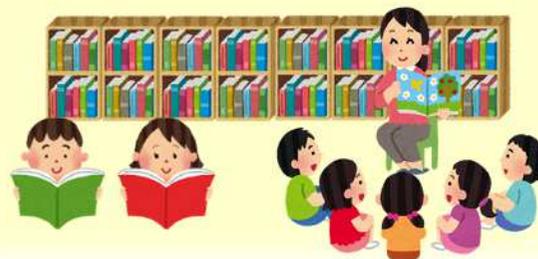
放課後子ども教室の活動

校庭遊び、学習活動、特別活動など



ほうかご図書室事業

放課後に小学校の図書室で本が読める♪借りられる♪



読み聞かせなどのイベントも実施！

主なSDGs目標



予防接種で重症化リスクも経済的負担も軽減！

おたふくかぜ・小児インフルエンザ 任意予防接種費用の助成

予算額(新規)

48,000千円

問合せ

保健予防課長

杉山 美奈子 内線3511

1 目的

ワクチンの発症予防効果により小児での感染症の重症化予防や流行抑制を図るとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、おたふくかぜワクチン及び小児インフルエンザの任意予防接種費用の一部助成を行う。

2 主な事業内容

(1) おたふくかぜ任意予防接種費用助成

【13,000千円】(新規)

対象：平成30年4月2日以降出生で満1才以上の子

接種方法：予防接種予診票を実施医療機関に持参し、接種

対象ワクチン：おたふくかぜワクチン(最大2回)

助成金額：3,000円×最大2回

(接種費用と助成金額の差額を医療機関窓口で支払い)

(2) 小児インフルエンザ任意予防接種費用助成

【35,000千円】(新規)

対象：生後6か月～15歳までの子

接種方法：予防接種予診票を実施医療機関に持参し、接種

対象ワクチン：インフルエンザワクチン

(年齢に応じ、最大2回/年)

助成金額：1,000円×最大2回/年

(接種費用と助成金額の差額を医療機関窓口で支払い)

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

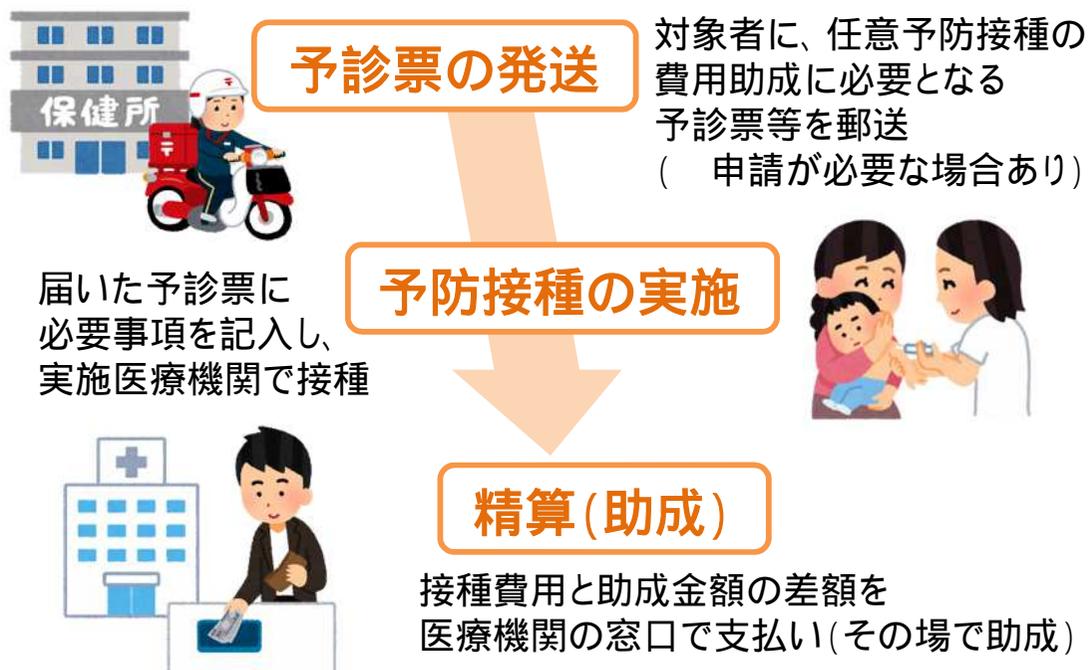
“おたふくかぜ”とは

ムンプスウイルスの感染で起こる全身性の感染症で、耳下腺の唾液腺に腫れや痛みがあらわれ、発熱等の症状が出る。この他にも、ムンプス難聴などの後遺症が残る場合もある。

“小児インフルエンザ”とは

インフルエンザウイルスで起こる呼吸器系の感染症で、発熱や頭痛、鼻水や咳などの症状が出るほか、まれに急性脳症などにより重症化する場合もある。

【助成までの流れ】



予診票の発送

対象者に、任意予防接種の費用助成に必要な予診票等を郵送
(申請が必要な場合あり)

予防接種の実施

届いた予診票に必要事項を記入し、実施医療機関で接種

精算(助成)

接種費用と助成金額の差額を医療機関の窓口で支払い(その場で助成)

21 子育てにやさしい道路環境に！

道路バリアフリー整備等の推進

予算額(新規・継続)

342,700千円

問合せ

道路公園課長

松岡 宏輔 内線5051

1 目的

子どもやその保護者(子育て世帯)などをはじめとする、すべての方が安心して外出できるよう、歩道のバリアフリー化や自転車通行空間の整備などを推進する。

2 主な事業内容

(1) 道路バリアフリー整備【249,000千円】(継続)

- ア 墨49号路線整備工事 (業平4-5 ~ 業平5-11)
- イ 墨119号路線(曳舟川通り)整備工事 (東向島6-45 ~ 八広5-10)
- ウ 墨63号路線設計委託 (東向島4-23 ~ 東向島4-28)

(2) 交差点部の歩道の段差解消【50,000千円】(新規)

ベビーカーや車いすなどが、ストレスなく安全に移動できるよう、交差点の歩道の段差を解消する。

(3) ガードレールの改修【28,700千円】(新規)

保育園、児童館等の周辺にある老朽化したガードレールを、保育園児等の姿が視認しやすいガードパイプに改修し、安全に通行できる道路環境を整備する。

(4) 自転車通行空間の整備【15,000千円】(新規)

自転車ネットワーク路線のうち、沿道に保育園や児童館等がある路線について、優先的に自転車通行空間を整備する。

主なSDGs目標



3 整備イメージ

◆ 交差点部の歩道の段差解消

2cm段差



改修後

段差なし



◆ ガードレールの改修

ガードレール



改修後

ガードパイプ



◆ 自転車通行空間の整備

ナビマーク



矢羽根



22 持続可能な“すみだ”の実現のために

「すみだ未来都市共創会議 × (仮称)すみだSDGsアワード表彰式」開催

予算額(新規・拡充)

4,000千円

問合せ

企画経営室副参事

(SDGs未来都市政策調整担当)

藤原 聖一郎 内線3761

産業振興課長

南部 友孝 内線5431

1 目的

区民・事業者・区職員がSDGs目標達成に向けて「ACTiON!」を起こし、各主体が様々なステークホルダーとつながり、伝え合うことで「取組の輪」を拡げ、持続可能な“すみだ”を実現させる。

2 主な事業内容

(1) すみだ未来都市共創会議【3,000千円】(拡充)

SDGsの目標達成に向けて積極的に取り組む区内事業者や団体等がその活動内容等を共有し、参加団体同士が相互に交流を行うことができる場と機会を創出する。

また、下記(2)のSDGsアワードの表彰式を合わせて実施する。

(2) (仮称)すみだSDGsアワード【1,000千円】(新規)

SDGs宣言を行った事業者等(令和6年1月15日現在335団体)の取組を後押しするため、特に優れた取組をモデルケースとして選出する「(仮称)すみだSDGsアワード」を実施する。

3 事業イメージ・その他

(1) すみだ未来都市共創会議 × SDGsアワード表彰式



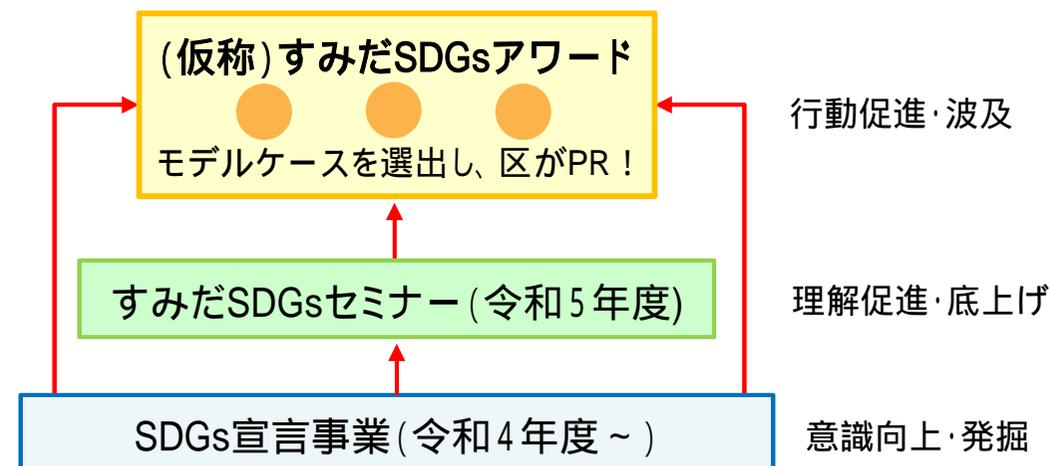
みんなで伝え合い、

情報を共有し、一緒に取り組んでいく!



令和5年度に実施した「すみだ未来都市共創会議」

(2) (仮称)すみだSDGsアワードの創設



主なSDGs目標



23 墨田区初の「都市型芸術祭」に向けて 総合的芸術祭の開催準備

予算額(新規)
39,000千円

問合せ
文化芸術振興課長
高橋 淳一 内線5451

1 目的

文化芸術の力を活かし、人のつながりを通じて地域力の向上、地域課題の解決を図るとともに、夢実現プロジェクトやシティプロモーションをより強力に推進する契機とすべく、「総合的芸術祭」を開催し、訪れたいまち、住み続けたいまちを実現する。

2 主な事業内容

総合的芸術祭の実施準備【39,000千円】(新規)

隅田川、相撲、祭り、伝統文化、ものづくり、音楽都市、地域社会の特色など、「すみだならではの」地域資源と文化・芸術を掛け合わせ、アーティストや区民、来場者が協働して表現活動を行うことで、さまざまな行政課題の解決(=すみだの夢実現)を図る。

令和6年度は実施準備初年度として、以下の事業を行う。

実行委員会準備会(本会は7年度から)、各会場準備会(部会)の立ち上げ

庁内推進本部(庁内連携・情報共有組織)の設置
基本構想(全体計画及び広報計画)策定、予算作成、コンセプトワーク等

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

令和8年度実施に向けた新規事業として立ち上げる、墨田区では過去に例のない規模の都市型芸術祭。

会期(予定)

令和8年(2026年)9月～12月

会場

区内全域を想定する。

対象となる事業

芸術性と創造性をもった多様な事業展開を予定。

対象となる芸術分野

音楽、文学、絵画、食、工芸、デザイン、映画、演劇・音楽劇等幅広い芸術分野を予定。

将来的にはトリエンナーレ(3年に1度の開催)を予定。



写真はイメージ

24 雨水先進都市すみだが、New Stageへ！

あまみず

雨水ネットワーク全国大会の開催

予算額(新規)

2,000千円

問合せ

資源循環推進担当副参事

菜原 航 内線5491

1 目的

「雨水ネットワーク()全国大会2024 in すみだ」を開催し、区民・企業・行政・学会などの様々な分野の人が、雨水活用等に関する情報交換や交流ができる機会を創出する。

普及啓発や環境教育、研究や技術開発など、広域的に連携して取り組むことで、持続可能な社会の構築を目指す。

雨水ネットワーク

2008年に設立された雨水活用や雨を主として水循環系の健全化に関わる産官学民で形成する「緩やかな情報のプラットフォーム」。

(世話人:NPO法人雨水市民の会・日本建築学会 外、アドバイザー:国土交通省・環境省)

2 主な事業内容

大会内の墨田区企画・運營業務委託【2,000千円】(新規)

「墨田区の雨水利用()」を区内外に広く発信するため、パネルディスカッションや企画展示等を実施する。(予定)

墨田区の雨水利用

地面が舗装された都市では、大雨の時、下水道に雨水が一挙に押し寄せ、都市型洪水が発生していた。

区は対策として、水の流出抑制・一時貯留を目的に、昭和57年に国技館が蔵前から両国に移る際、日本相撲協会に「地下に雨水タンクの設置と、貯めた雨水の有効利用」を提案、導入が実現。(日本初の大規模雨水利用施設)

以後、約40年間「流せば洪水、ためれば資源」を合言葉に、雨を活かす運動に取り組んでいる。(区内772施設で、26,304tの雨水貯留が可能 /R5.3末現在)

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

雨水ネットワーク全国大会2024 in すみだ 大会概要

主催:「雨水ネットワーク全国大会2024 inすみだ」実行委員会

共催:墨田区(予定)

日時:令和6年8月3日(土)・4日(日) 2Days 開催

場所:すみだリバーサイドホール 外

内容:今後、実行委員会の中で検討



過去の大会の様子

(過去の実施内容)

- ・基調講演
- ・パネルディスカッション
- ・ワールドカフェ
- ・子ども向けWS etc.

全国大会の
ココ
が見所

①2024年は、「墨田区」と「雨水」にとってメモリアルな年！

墨田区の雨水施策を推進させる契機となった、『雨水利用東京国際会議』から30周年！

さらに、「雨水の利用の推進に関する法律」施行から10周年！

②ゼロカーボンシティ実現に向けた雨水利用の可能性

雨水の利活用を資源循環政策の一環として位置付け、本区の雨水利用を進化させ、New Stageに到達させるため、本大会を起爆剤として、今後の政策形成につなげていく。

魅力的な区民参加型プログラムの実施！

子どもから大人まで、楽しみながら「雨水」について学べる様々な体験会やワークショップを企画！

25 酷暑から区民の命と健康を守るために オールすみだで熱中症対策強化

予算額(新規・拡充)
8,134千円

(1)環境保全課422千円 (2)すみだ清掃事務所650千円
(3)保健計画課4,316千円 (4)高齢者福祉課2,746千円

問合せ

環境保全課長 山中 淳一 内線5461
すみだ清掃事務所長 高村 弘晃
電話5608-6922

保健計画課長 澤田 敦子 内線3501
高齢者福祉課長 瀬戸 正徳 内線3410

1 目的

地球沸騰化とまで言われている昨今、熱中症対策は喫緊の課題となっている。令和6年4月に施行される気候変動適応法の改正を受け、墨田区でも様々な対策を講じ、区民の命と健康を守る。

2 主な事業内容

(1) 指定暑熱避難施設の指定【422千円】(新規)

これまで実施してきた「涼み処」に加え、公共施設を「指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)」に指定し、夏季期間中、区民等が涼める場所を提供する。

(2) 熱中症対策普及団体の指定【4,316千円】(新規)

熱中症対策に取り組む民間団体等を、熱中症対策普及団体に指定する。指定団体と連携することで、その知見やネットワークなどを活かし、さらに効果的な普及啓発につなげていく。

(3) 高齢者熱中症等対策事業【2,746千円】(拡充)

熱中症に対するリスクが高いと考えられる高齢者に対し、「猛暑避難所(涼み処)」の設置、高齢者みまもり相談室による予防啓発及び、75歳以上の高齢者への予防啓発資料の配布を行う。

(4) 事業所としての熱中症対策【650千円】(拡充)

屋外で業務を行う職員の熱中症対策の一環として、すみだ清掃事務所内に冷水器を設置する。

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

指定暑熱避難施設の指定

公共施設30か所程度を指定

民間施設は、
協力施設として募集予定



熱中症対策普及啓発

- ・熱中症対策普及団体との連携
- ・セミナーや啓発イベントを実施



写真はイメージ



オールすみだで



熱中症対策

高齢者熱中症等対策

熱中症予防
チラシ等の配布



猛暑避難所「涼み処」

区内15か所設置
(令和5年度実績)



26 人と人とのつながりで生きがいづくりと安心を

高齢者の暮らしをサポート！

予算額 (新規・拡充・継続)

8,020千円

問合せ 高齢者福祉課長
瀬戸 正徳 内線3410
福祉保健部副参事
(地域包括ケア推進担当)
清水 洋平 内線3411

1 目的

高齢者社会の進行に伴う様々な課題に対応するため、高齢者が「自分らしく生きがいをもって生活すること」ができる施策を展開し、「暮らし続けたいまち」を実現する。

2 主な事業内容

Tokyo区市町村DXaward
2023で優秀賞を受賞！

(1) 高齢者デジタルデバインド解消事業【5,198千円】(継続)

高齢者デジタルデバインド解消を目的に、ICTに知見をもつ民間企業、区内にあるIUや学校と連携し、区内高齢者向けのスマートフォン講習会及び相談会を実施する。

(2) 高齢者補聴器購入費助成事業【2,450千円】(拡充)

従来の助成上限額2万円から3万5千円の引き上げを行うことで、対象者の経済的な負担を軽減するとともに、QOLの向上、社会参加の促進につなげる。

(3) 認知症高齢者見守りシール事業【372千円】(新規)

地域全体で認知症高齢者を見守り、行方不明時の早期発見及び保護を目的として、認知症高齢者を発見した方が読み取ると、ご家族等と直接やりとりできる専用サイトにつながるQRコード付きの見守りシールを配布する。

主なSDGs目標



3 事業イメージ

1

「公民学連携」で人にやさしいデジタル化を推進！

区内高齢者向け



【個別スマートフォン相談会】

- ・区内公共施設で毎週1回開催 (9:30-12:30 一人30分まで)
- ・1回最大6名対応可

老人クラブ向け



【スマートフォン講習会】

- ・クラブ会員30名を対象に実施
- ・計4日間でスマートフォンの基本操作と利用機会の習慣化を促す。

2

助成金UPで、積極的な社会参加を促進！

高齢者補聴器購入費助成額の拡充

20,000円 (R5) ▶▶▶ 35,000円 (R6)

助成金の拡充により、制度がより利用しやすくなります！



3

認知症高齢者が安心して暮らせるまちへ！

認知症高齢者見守りシール事業

衣服等に貼られたシールのQRコードをスマートフォンで読み取ることで、道に迷った認知症高齢者を発見した方が、ご家族に連絡できる見守りシールを配布！



27 祝！新千円札発行「神奈川冲浪裏」

葛飾北斎で「すみだ」をめぐる

予算額(新規・拡充)

17,000千円

問合せ(1)(2)観光課長
榊 健 内線5481
(3)文化芸術振興課長
高橋 淳一 内線5451

1 目的

令和6年7月に流通が始まる新千円札に北斎の「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」が採用されることに合わせ、「北斎のまち」として墨田区をPRをする。

2 主な事業内容

(1)「葛飾北斎の歩き方」の制作費【7,000千円】(新規)

昨年発行し、好評を得ている「すみだの歩き方」第2弾として、「葛飾北斎の歩き方」を発行する。北斎にスポットを当て、ゆかりの地である墨田区の今を楽しむ「観光ガイドブック」を作成する。

(2)北斎ゆかりの地回遊事業【3,000千円】(新規)

北斎ゆかりのスポットを巡る企画を実施し、墨田区と北斎の繋がりを知ってもらうとともに、「まち歩き」による区内の回遊を促進する。

(3)重点企画 特別展『北斎 グレートウェーブ・インパクト - 神奈川冲浪裏の誕生と軌跡 -』展【7,000千円】(拡充)

すみだ北斎美術館において、「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」の誕生の背景に迫る特別展を実施する。

その中では、図柄が現在に至るまで様々に利用された軌跡をたどり、「グレート・ウェーブ」の通称で親しまれる本作の魅力を紹介する。

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

葛飾北斎
「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」
新千円札に採用！



出典：国立印刷局ホームページ

「北斎のまち」として
一体的にPRを行う！

1

「葛飾北斎の歩き方」の制作

北斎ゆかりの地を紹介するだけでなく、墨田区を知って、楽しんでもらえる冊子。



「すみだの歩き方」(令和5年10月発行)

2

北斎ゆかりの地回遊事業

楽しく北斎ゆかりの地を巡ってもらう企画を実施。



3

『北斎 グレートウェーブ・インパクト—神奈川冲浪裏の誕生と軌跡—』展

本作の誕生の背景に迫るとともに、作品の軌跡や魅力を紹介。

(開催期間)

令和6年6月18日(火)
～8月25日(日)(予定)



28 あなたの「マイスポーツ」見つけてみませんか？ 誰もが楽しみながら、 スポーツでつながるまちの実現へ

予算額 (新規・拡充)
8,226千円

問合せ
スポーツ振興課長
大島 悠樹 内線5490

1 目的

令和6年4月に施行予定の「(仮称)墨田区スポーツ推進計画」の基本目標を踏まえ、子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらず、誰もが自分の興味・関心・適性に合った「マイスポーツ」を見つけ、気軽にスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりを推進する。

2 主な事業内容

(1) スポーツ情報発信サイトの開設 【5,423千円】(新規)

区内で開催されるスポーツ関連事業やスポーツ施設等の情報を集約・発信するポータルサイトを構築し、自分が興味・関心のあるスポーツ情報を見つける機会の充実を図る。

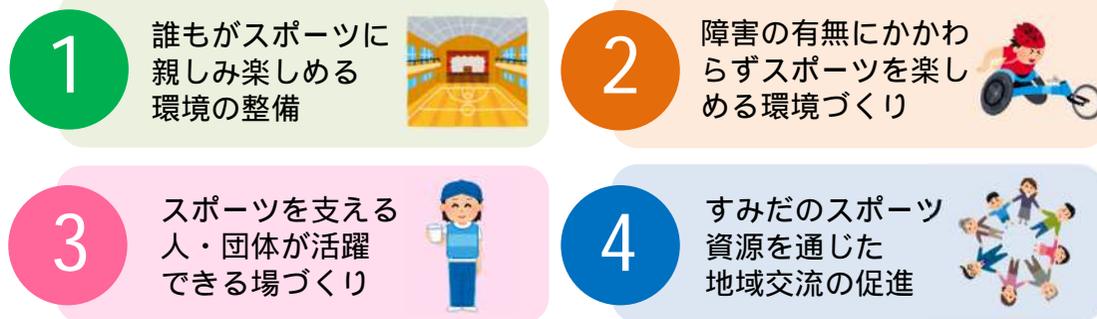
(2) 障害者スポーツ普及啓発事業 【2,803千円】(拡充)

スポーツ部門と福祉部門が一同に会する「墨田区障害者スポーツ推進協議会」において、当事者のニーズを踏まえた事業を展開することで、障害者スポーツの普及及び障害の有無に関わらず「マイスポーツ」に出会える機会の充実を図る。

主なSDGs目標



(仮称)墨田区スポーツ推進計画の基本目標



産業集積のアップデートを目指します！ ハードウェアスタートアップ 拠点構想の推進

予算額(拡充)

319,485千円

問合せ

産業振興課長

南部 友孝 内線5431

1 目的

墨田区ならではの地域特性を活かしたスタートアップ支援の仕組みを構築し、区内事業者等との共創事例を生み出し、将来の「産業集積のアップデート」を目指す。

2 主な事業内容

(1) < 錦糸町エリア >

墨田区産業共創施設「SUMIDA INNOVATION CORE (SIC)」の運営【298,285千円】(拡充) 2023年10月29日オープン

本構想の中核施設としてSICを位置づけ、スタートアップやクリエイター等呼び込み、区内事業者との共創を生み、共に持続的に発展するための機能やプログラムを提供する。

会員登録数(令和5年12月末時点)

スタートアップ会員: 38社	区内事業者会員: 20社
パートナー会員: 41社	メンター会員: 21社

(2) < 八広・東墨田エリア >

テクネットすみだ・東墨田ラボにおけるスタートアップ支援【21,200千円】(拡充)

社会課題の解決に資する製品開発・社会実験等に取り組むスタートアップに対して、技術相談及び製品開発・試作等への協力やハード面での支援を行う。

主なSDGs目標



ものづくりの現場の機能を持ち、SICを補完する役割も！

3 ハードウェアスタートアップ拠点構想全体イメージ

各エリアにおいて、区内事業者とスタートアップの連携を軸に、区内外の多様なステークホルダーを誘引する。

「ものづくりのまち・すみだ」継承・発展のため、SICを核としたエコシステムを構築し、区内産業の活性化を目指す。



30 買い物も、飲食も、体験も。お得に満喫！

デジタル決済促進支援事業

予算額(新規)

242,000千円

問合せ

産業振興課長

南部 友孝 内線5431

1 目的

墨田区商店街連合会と連携し、デジタル決済を活用した継続的な消費喚起策を展開することで、区内事業者のDXを推進するとともに、区内商店の支援、商店会の活性化を図る。

2 主な事業内容

(1) すみだプレミアム付デジタル商品券【212,000千円】(新規)

プレミアム付きのデジタル商品券を発行し、区内商店の消費喚起を図る。すべての対象店で利用可能なA券と商店会加盟店のみ利用可能なB券をセットにして販売することで、商店会加盟店での売上増加と商店会加入促進を図る。

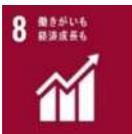
(2) すみだまるごとバルウォーク【30,000千円】(継続)

今年度の第1弾に引き続き、「食」だけでなく、「もの・コト」を巻き込んだ区内全域でのバルウォークイベントの第2弾を開催する。お得なデジタルチケットによって、来客増と効果的なPRを図る。

ここがポイント！

キャッシュレス先進区として、プレミアム付商品券をデジタルに特化した形で発行し、区内のDXを強力に推進！
2つの事業の相乗効果によって、区内の経済循環を創出！

主なSDGs目標



3 事業イメージ

デジタル決済で 消費喚起 & 商店支援！



×



(1) すみだプレミアム付デジタル商品券

デジタル商品券でお得にお買い物や食事ができます！

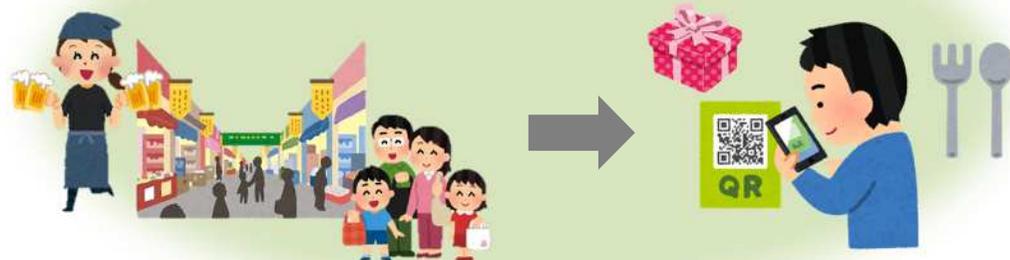


商品券を購入(抽選)

A券:対象店舗全てで利用可 / B券:商店会加盟店のみで利用可

(2) すみだまるごとバルウォーク

イベント限定のバルメニューをチケット制で楽しめます！



各店舗にてバルメニューを用意

事前に購入したチケットを使用

31 相談者に寄り添う「断らない窓口」!

障害者相談支援体制の充実

予算額 (新規・拡充)

11,647千円

問合せ

障害者福祉課長

瀧澤 俊享 内線3361

1 目的

障害のある方が地域で希望する暮らしを送るには、福祉に関する問題やサービス利用に関する助言や支援が重要であるため、地域の相談支援体制の充実を図る。

2 主な事業内容

(1) 障害者基幹相談支援センターの運営事業

【8,647千円】(拡充)

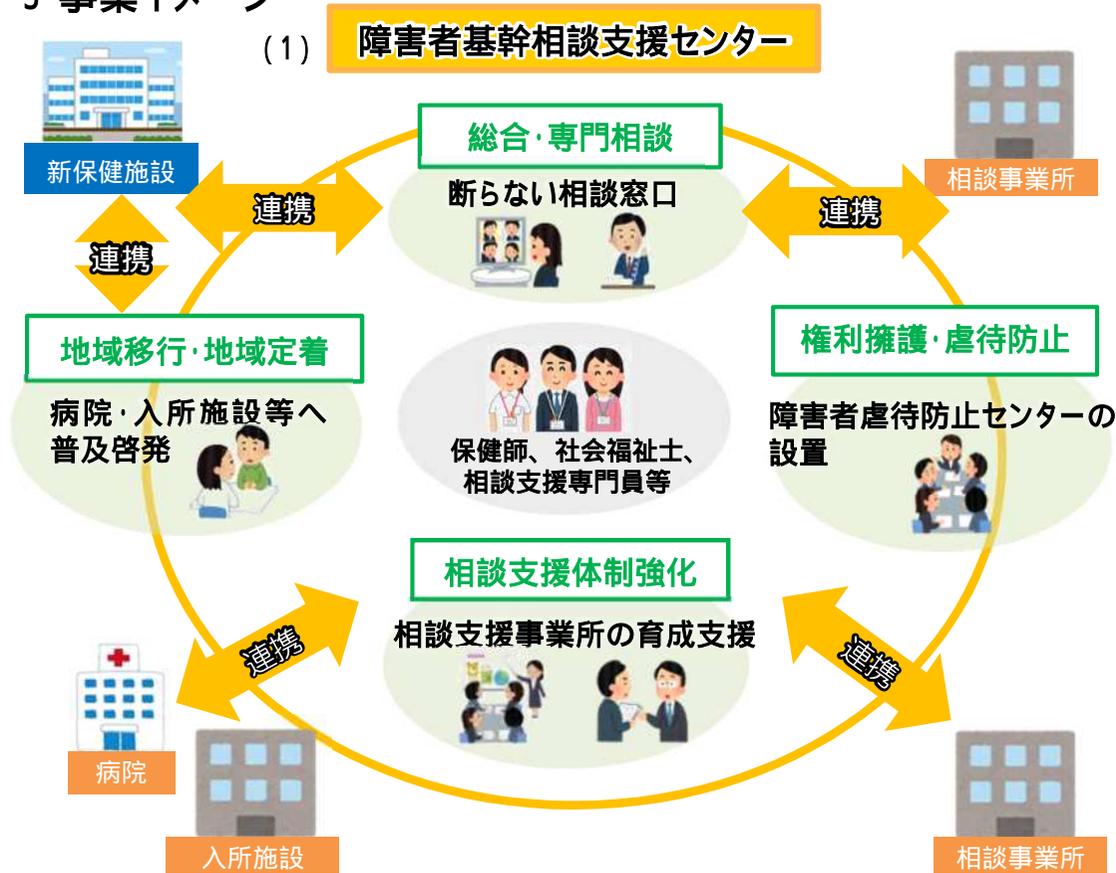
地域の相談支援の中核的な役割を担う機関として専門職を配置し、どこに相談したらよいか分からない障害に関する相談に対応する。また、相談支援事業所に対する専門的な助言を行うほか、研修や事例検討会を開催し、相談支援体制を強化する。

(2) 障害者就労を支援する計画相談の実施

【3,000千円】(新規)

就労を希望する障害のある方一人ひとりの希望や能力に沿った、きめ細かい支援が提供できるよう、すみだ障害者就労支援総合センターで計画相談事業を実施する。

3 事業イメージ



(2) 障害者就労を支援する計画相談の実施



計画相談のイメージ



個々のライフプランを見通した切れ目のないサービスを提供

すみだ障害者就労支援総合センター

主なSDGs目標



32 つながる！ひろがる！すみだの国際交流

パリ7区・ソウル西大門区との交流

予算額(新規・拡充)
5,342千円

問合せ
文化芸術振興課長
高橋 淳一 内線5451

1 目的

ソウル特別市西大門区との友好都市締結20周年を記念し、訪問団を派遣するとともに、区との交流が深く、次の夏季五輪の開催都市でもあるパリ市7区との文化交流を推進することで、共生社会の実現や国際社会への区民理解を深める。

2 主な事業内容

(1) パリ市7区との文化交流事業【1,602千円】(新規)

偶然にも連続してオリンピックの開催都市となったパリと東京。

本区と友好関係にあるパリ市7区の文化芸術をパリ2024大会のエピソードを交えながら紹介するとともに、両区によるスポーツと文化芸術の融合を図る企画展『パリ市7区紹介展～パリ2024と共に～(仮称)』を実施する。

(2) ソウル西大門区友好都市締結20周年記念 訪問団派遣事業 【3,740千円】(拡充)

協定締結20周年の節目として、現地視察や今後の両区の友好交流等の更なる推進のため、区長を筆頭とする訪問団を西大門区へ派遣する。

(令和5年度に協定締結20周年を迎えたが、新型コロナの影響で、派遣事業を令和6年度に実施)

3 事業イメージ・その他



パリ市7区との文化交流事業の様子(令和4年度)



国際交流のさらなる推進を図り、「すみだ型共生社会」の実現をめざします！



ソウル西大門区とのサッカー交流事業の様子(令和5年度)

主なSDGs目標

16 平和と公正をすべての人に



17 パートナシップで目標を達成しよう



プラスチックを「ごみ」から「資源」に！ 廃プラスチックの分別収集・ 再資源化の本格実施

予算額(拡充)

432,146千円

問合せ

すみだ清掃事務所長
高村 弘晃 電話 5608-6922

1 目的

廃プラスチックを「ごみ」として処理せず、「資源物」として有効利用することで、プラスチックの資源循環を促進し、ごみの減量化と循環型社会の実現をめざす。

2 主な事業内容

廃プラスチックの分別収集・再資源化の本格実施
【432,146千円】(拡充)

小規模地域を対象としたモデル実施(令和5年度)を踏まえ、令和6年度から実施区域を区内全域に拡大し、廃プラスチックの分別収集・再資源化に取り組む。

期間: 令和6年4月～

対象: 区内全域

方法: 週1回「プラスチックの日」を設け、廃プラスチック(容器包装、製品プラスチック)を回収する。

事業効果

【ごみ量の削減】

- ・プラスチックを資源物として回収することで約**2,650 t/年**削減(R4年度比 ごみ量 **5.0 ポイント**減少)
- ・資源化することで資源化率 **4.0 ポイント**上昇(R4年度比)

【温室効果ガスの削減】

- ・焼却処分から資源化することで約**2,800t-CO₂/年**削減

主なSDGs目標



3 事業イメージその他

廃プラスチックの影響で

気候変動

海洋汚染

など様々な**問題**が発生

「廃プラスチック」を「資源物」として回収
環境にやさしい持続可能な「すみだ」の実現へ

これまで	変更	令和6年4月から
資源物(週1回)	燃やすごみ(週2回)	資源物(プラスチックの日:週1回)
食品トレー	プラスチック類	プラスチック資源(プラスチック素材100%)

さらに！ 本格実施にあわせてスタート

小型充電式電池の 拠点回収

リチウムイオン電池等の拠点回収を行い、不適正排出による車両や処理施設の火災を防止する。



火災防止対策

風防・防鳥ネット貸与 (戸別収集世帯対象)

排出する際に、軽量のプラスチック資源にネットを被せて、道路上への飛散を防止する。



飛散防止対策

集積所看板の リニューアル

既存の集積所看板をリニューアルし、プラスチックの分別排出について普及啓発する。



(イメージ)

普及啓発

地域で取り組む食品ロス削減

予算額(新規・拡充)

16,526千円

- (1)すみだ清掃事務所14,526千円
- (2)厚生課2,000千円

問合せ 資源循環推進担当副参事
 菜原 航 内線5491
 すみだ清掃事務所長
 高村 弘晃 電話5608-6922
 福祉保健部副参事
 平井 千枝 内線3301

1 目的

食品ロス削減対策に取り組む各主体と連携し、官民一体となって、未利用食品の有効活用を図る。

また、令和5年度中に策定予定の(仮称)墨田区食品ロス削減推進計画において、墨田区が食品ロス削減を進めるためのキーワードに掲げる「E-do(江戸)logy()」を合言葉に、取組の推進を図っていく。

E-do(江戸)logy

江戸時代が究極の資源循環型社会であったことに加え、E(Ecology・Enjoy・Education/E=良い)ことを、do(実践)するという意味を込めた造語

2 主な事業内容

(1) 食品ロス対策拠点本格稼働に向けての整備

ア ネットワークの構築【12,370千円】(拡充)

立川リサイクルストックヤードを拠点とし、フードドライブで集めた食品の収集から配送までのロジスティクス体制を構築する。

区内食支援包括ネットワーク「ごっつあんすみだ」との協定締結により、当該団体が寄付を受けた食品も保管。団体は食品全体のマッチングコーディネート、情報発信を担う。

イ 食品ロス量の経年把握【2,156千円】(新規)

(仮称)墨田区食品ロス削減推進計画で掲げる事業効果検証、見直しのため、経年的にごみの組成分析調査を行い、食品ロス量を把握する。

(2) フードパントリー等に対する利用環境整備補助

ア 利用環境整備運営補助【1,600千円】(拡充)

通年で開催するフードパントリー等への補助【上限額】1団体10万円

イ 長期休み期間限定取組運営補助【400千円】(拡充)

学校給食が提供されない夏休み等の長期休み期間中に特化して開催するフードパントリー等への補助【上限額】1団体5万円

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他



(仮称)墨田区地域公共交通計画の策定

予算額(継続)

10,928千円

問合せ

都市計画部参事

武井 勝人 内線3901

1 目的

安全・快適で使いやすい持続可能な交通ネットワークを形成し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、すみだの公共交通のあるべき姿を検討する。

策定の背景

鉄道、バスなどの利用者数の伸び悩みや運転手人材の不足、エネルギーコストの増加などの諸課題への対応
環境配慮への社会的要請の高まり
自動運転技術の進展や新モビリティの登場などによる、利便性の高い交通サービスへの期待

2 主な事業内容

(仮称)墨田区地域公共交通計画の策定

【10,928千円】(継続)

今年度実施の区民アンケートの結果も含め、利用者の声を幅広く聴取するとともに、交通事業者と利用者、行政機関で構成する「(仮称)墨田区地域公共交通活性化協議会」を設置し、持続可能な地域公共交通について検討し、計画を策定する。

主なSDGs目標



3 事業イメージ



災害時受援応援体制の構築と 持続可能な避難所運営に向けて

予算額(新規)

12,400千円

問合せ

防災課長

岩本 健一郎 内線3551

1 目的

首都直下地震等に備え、災害時受援体制の強化に向けた地域内輸送拠点(ターミナル型備蓄倉庫)の整備に合わせ、受援応援計画を策定する。

また、避難所に「蓄電池」を新たに配備することで、発電機以外の充電手段を確保し、持続可能な避難所運営を実現する。

2 主な事業内容

(1)ターミナル型備蓄倉庫の整備

令和6年秋に開設予定の「すみだ保健子育て総合センター」の一部(1階多目的ホール)をターミナル型備蓄倉庫として、災害時の支援物資受援拠点とする。

(2) (仮称)墨田区災害時受援応援計画の策定

【5,000千円】(新規)

災害時、全国からの支援(人的・物的資源)を円滑に受け入れることができるよう、受援応援計画を策定し、体制を整備する。

(3)蓄電池の配備【7,400千円】(新規)

既存の発電機(ガソリン式等)は、発電の際に、一酸化炭素を排出するため「屋内」で使用することができないとともに、騒音の影響で「夜間」に使用しにくい。

そこで、室内で使用が可能であり、さらに静音で夜間でも使用しやすい、「ソーラーパネル付き蓄電池」を配備し、避難所の強化とSDGsの推進を図る。

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

災害発生



地震



台風 など



人的支援

国や全国の自治体から

物的支援



プッシュ型支援にも、円滑な受け入れが可能に

すみだ保健子育て総合センター



1階多目的ホールを、災害時に
ターミナル型備蓄倉庫として活用

(仮称)墨田区災害時受援応援計画

- ・受援応援の役割分担や連絡窓口
- ・応援要請や受け入れ等のルール
- ・物資の仕分け及び提供の手順
など、事前に策定



蓄電池の導入

様々な充電手段を確保
夜間も静かに使用可能

避難者の安全安心に



蓄電池

蓄電池は日中充電
持続的に使用可能



耐震化促進事業

予算額(拡充)
153,769千円

問合せ
不燃・耐震促進課長
椎名 康明 内線3971

1 目的

地震による建築物の倒壊等の被害から区民の生命・財産を守るとともに、建築物の地震に対する安全性の向上を図ることにより、災害に強いまちづくりを促進する。

2 主な事業内容

(1) 木造住宅耐震改修促進助成(新耐震助成制度の創設) **[90,707千円](拡充)**

【新耐震基準の住宅助成】

新たに新耐震基準の住宅を助成対象建築物に追加し、更なる被害軽減効果を促進(右図)

【普及啓発】

北部地区を中心とした町会への耐震化普及啓発

(2) 民間建築物耐震診断助成 **[6,746千円](継続)**

専門家による非木造建築相談、耐震診断の費用を一部助成

(3) 分譲マンション・緊急輸送道路沿道建築物等耐震化促進助成 **[4,084千円](継続)**

耐震診断、補強設計、耐震改修工事の費用を一部助成

(4) 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進助成 **[52,232千円](継続)**

補強設計、耐震改修工事、除却、建替の費用を一部助成

主なSDGs目標



3 事業イメージ

新耐震助成制度の創設

旧制度の対象	新制度の対象	2000年(6月)建築基準法改正
1950年 建築基準法改正 旧耐震基準の住宅 ~ S56.5	1981年(6月)建築基準法改正 新耐震基準の住宅 S56.6 ~ H12.5	2000年(6月)建築基準法改正 現行耐震基準の住宅 H12.6 ~
耐震性に乏しく、大地震時(震度6程度)の危険性が高い	新耐震基準ではあるが、2000年基準を満たしていない要素がある	壁の配置バランス、接合金物などの規定が盛り込まれる

助成対象を拡大！

(適用される助成事業) 助成額は旧耐震と同額

耐震診断助成	15万円
耐震改修工事助成	最大190万円
除却助成	50万円
耐震装置設置助成	最大50万円

地域と一体になり、
災害に強い
まちづくりを推進！

公共施設利用システムの リニューアルで利便性向上

予算額(新規・拡充)

10,070千円

問合せ

ICT推進担当課長

松本 輝之 内線3651

1 目的

公共施設利用システムを再構築し、キャッシュレス決済の導入、スマートフォンに対応した画面への対応を行い、利用者の利便性向上を図る。

2 主な事業内容

(1) 公共施設利用システム再構築【98,155千円】(拡充)

スマートフォンに対応した操作しやすい画面にリニューアルを行う。

さらに、オンラインに対応した機能の充実、オンライン決済でのクレジットカード対応などを行い、手続きがオンライン上で完結できるよう構築する。

(2) 施設窓口のキャッシュレス決済対応【1,915千円】(新規)

施設の窓口でキャッシュレス端末を導入し、クレジットカード、電子マネー、QRコードなどの、様々な方法で施設使用料の支払いを可能にする。

3 事業イメージ・その他

様々な決済方法に対応！



キャッシュレス決済

- ・クレジットカード
- ・電子マネー
- ・QRコード決済

公共施設

公共施設の利用が、
ますます便利に！

スマートフォン対応
オンライン手続

施設予約、抽選申込



自宅

窓口に行かず
らくらく申請！



オンライン決済

クレジットカード

わかりやすい画面で手続き簡単！

主なSDGs目標



Web口座振替受付サービスの導入

予算額(新規)

35,646千円

問合せ

税務課長

井上 貴文 内線3251

1 目的

特別区民税・都民税ほかの口座振替の受付事務にパソコンやスマートフォンで申請ができる「Web口座振替受付サービス」を導入することで利用者の方の利便性の向上及び事務の効率化を図る。

2 主な事業内容

Web口座振替受付サービスの導入【35,646千円】(新規)

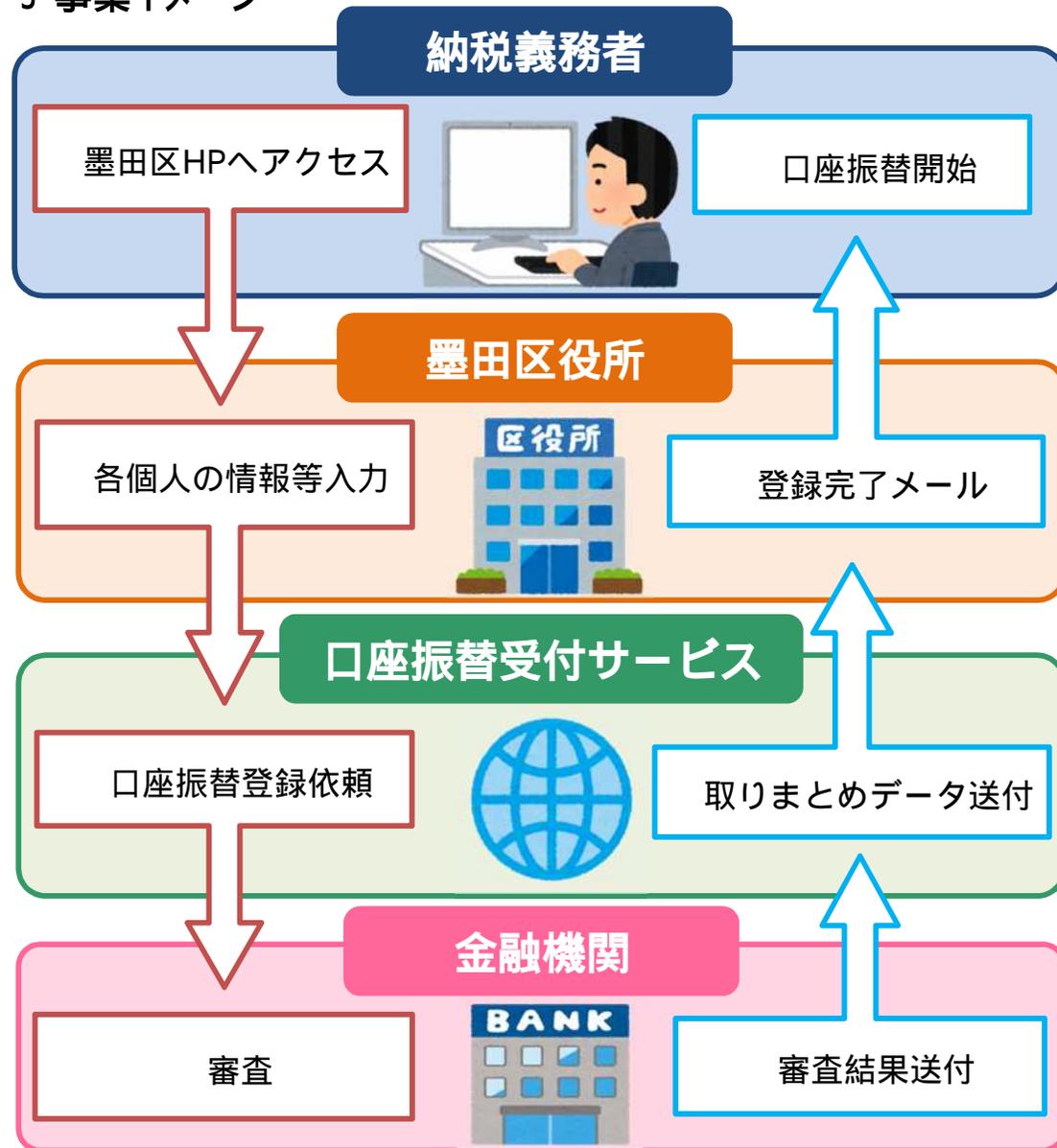
ペーパーレスや手続きの簡素化となり、「来させない、書かせない、待たせない」窓口の推進。

不備がある場合、すぐに対応が可能となるため、口座振替開始までの時間が最短20日に大幅短縮。
(従前は50日)

特別区民税・都民税のみならず、「国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料、保育料、学童クラブ育成料」においても利用を開始し、全庁システムとして導入する。

対応金融機関は都市銀行や地方銀行に限らず区内信用金庫など過去の口座振替利用者実績を踏まえて契約する。(全40行予定)

3 事業イメージ



主なSDGs目標



40 次のパンデミックに備えて着々と準備！

“ネクストコロナ”に向けた感染症対策

予算額(新規・拡充)

27,450千円

問合せ

保健予防課長

杉山 美奈子 内線3511

1 目的

ネクストコロナを見据えた感染症対策として、「平時からの感染症対策の徹底」と「保健所業務のDX化」を推進することにより、感染症の流行による通常業務の増加や、新たな感染症による健康危機に対応する。

2 主な事業内容

(1) 感染症疫学調査システム【27,071千円】(拡充)

コロナ禍で活用した、患者調査の情報を管理するシステムを拡充し、結核等コロナ以外の感染症や施設内で発生した感染症にも適用できるようにする。システム化により、ペーパーレスを進め、帳票類の自動作成により業務の効率化を図るほか、患者・クラスター情報の電子化により、迅速な感染状況の把握や共有が可能となる。

(2) タブレット端末の購入【379千円】(新規)

庁舎外での感染症疫学調査にタブレット端末を用いることにより、調査シートの作成作業を効率化できる。タブレットで入力した情報が即時に感染症疫学調査システムへ反映されるので、庁舎内の職員ともスムーズに共有できる。

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

(~ R5年度)

新型コロナウイルス



令和4年度から
疫学調査システム導入済

継続

(R6年度~)

コロナ以外の感染症
(結核・麻しんetc.)



患者情報や施設調査記録
紙媒体で管理

拡充

感染症疫学調査システムで **様々な感染症に対応!**

より迅速で的確な感染症対応が可能に
保健所業務のDX化の加速



今後起こりうるパンデミック等にも
柔軟に対応できる保健所体制の強化で、
区民の生命と健康を守ります!



41 23区初！新しい施設管理のかたち 公共施設の包括管理

予算額(新規)(債務負担)
令和6年度: 0千円
令和7年度: 450,000千円

問合せ
公共施設マネジメント推進課長
佐藤 麻依子 内線5071

1 目的

複数の公共施設における各種点検委託や簡易修繕など、施設管理業務をまとめて1つの「包括管理事業者」と契約し、点検や修繕業務を実施するとともに、施設情報を収集し、DX化を推進する。

2 主な事業内容

公共施設包括管理業務委託【0千円(債務負担)】
(23区初・新規)

- (1) 建物の維持管理に係る保守点検委託
消防点検、自家用電気工作物点検、空調機点検 等
- (2) 建築基準法12条点検委託
公共施設の建築物、設備、防火設備等の点検 等
- (3) 1件あたり70万円未満の簡易修繕
漏水、設備機器故障等の修繕 等

23区初！

これらの契約事務をまとめて包括管理事業者へ委託

包括管理事業者が各種点検・簡易修繕を協力会社に依頼
施設情報をシステムで管理し、より効率的に業務を推進

主なSDGs目標



3 事業イメージ(簡易修繕の場合)

施設所管課



施設から不具合の連絡が...
包括管理事業者に連絡しよう！

包括管理事業者事務所(庁内又は近隣賃貸借施設)



施設の不具合があったようだ。
早速準備しよう！

該当の施設

その場で確認！
応急処置も



すぐ駆け付けてくれて安心！

包括管理事業者専用車



専用車で出勤！現場に急行！

簡易修繕で
済みそう！



包括管理事業者が
区内の事業者に
修繕工事を発注！

終了



簡易修繕では
済まなそう...



公共施設マネジメント
推進課と事業者で
状況を確認し、修繕
方法を検討！

施設所管課と
今後の対応
方法を検討！

NEWS

これまでの本区の公共施設マネジメントの取組みが認められ、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会が主催するJFMA賞において「優秀ファシリティマネジメント賞」を受賞！
<http://www.jfma.or.jp/award/index.html>





ひと、つながる。
墨田区